

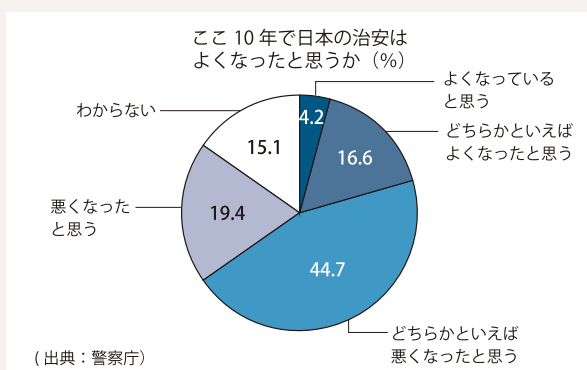
入居者に喜ばれる防犯アイテム

監修：住まいのジャーナリスト高橋洋子

入居者は治安に不安を感じています

様々な犯罪のニュースが多くなり、漠然とした不安を感じている方は多いのではないのでしょうか。

警察庁が21年11月に行ったアンケート調査でも、「ここ10年で日本の治安はよくなったと思うか」との質問に、あわせて64.1%の人が「悪くなった」「どちらかといえば悪くなったと思う」と答えています。



実は住宅への空き巣などの侵入窃盗犯罪は、10年前と比べると3分の1以下になっています。これは防犯に優れた鍵や防犯ガラスなどの採用で、住宅そのものの防犯性能と、防犯意識の高まりが理由だと言われていますが、それでも治安への不安は増しています。今や賃貸住宅の防犯設備は、必ず必要なものだと考えるべきでしょう。

人気設備の調査でも防犯アイテムが

下の表は2022年の「この設備がなければ入居者が決まらない」ランキング。シングル、ファミリー共にTVモニター付きインターホンが上位に入っています。

さらにエントランスのオートロックは安定して人気ですし、人に会わずに荷物が受け取れる宅配ボックスも人気が高い設備です。

このように調査からも入居者が防犯に興味があることがわかります。

この設備がなければ入居者が決まらないランキング 2022

単身者向け物件	順位	ファミリー向け物件
室内洗濯機置場	1位	追い焚き機能
TVモニター付きインターホン	2位	室内洗濯機置場
インターネット無料	3位	TVモニター付きインターホン
温水洗浄便座	4位	独立洗面台
独立洗面台	5位	温水洗浄便座
エントランスのオートロック	6位	インターネット無料
備え付け照明	7位	システムキッチン
宅配ボックス	8位	ガスコンロ (2口/3口)
高速インターネット	9位	エントランスのオートロック
ガスコンロ (2口/3口)	10位	宅配ボックス

出典：2022 全国賃貸住宅新聞社調べ

おすすめの防犯設備は裏面で

不動産のご相談は
当社まで

今選ぶべき賃貸住宅の防犯設備

TVモニター付きインターホン

TVモニター付きインターホンは、インターホンにカメラがついていて、室内のモニターから外の様子や来訪者の顔を確認できる設備です。人気設備調査でも上位に入っています。現在はさらに様々な機能がついており、安心感が増しています。たとえば、留守中の来訪者も確認できる「録画機能」、夜間でも広範囲の確認が可能な「LEDライト付き」、女性の声を男性の声に変換できる「ボイスチェンジ機能」などがあります。賃貸物件の防犯性や安全性を重視する方にはおすすめの設備です。導入する金額も、機種や地域にもよりますが、1戸あたり10万円～と言われてしますので、費用対効果は高いと言えるでしょう。



人感センサー付きライト

屋外の人感センサーライトは、夜間の防犯効果を高める設備です。人が近寄るとライトがつくため、犯罪者への抑止効果に繋がります。比較的費用も少なく済み、費用対効果の高い設備だと言えます。



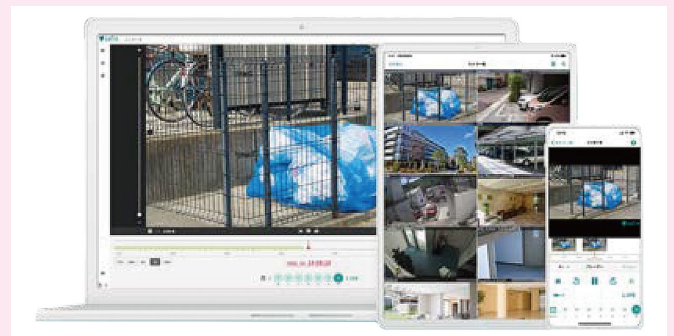
クラウド型防犯カメラ

防犯カメラは犯罪防止に高い効果があると言われており、入居者にも人気の設備となります。

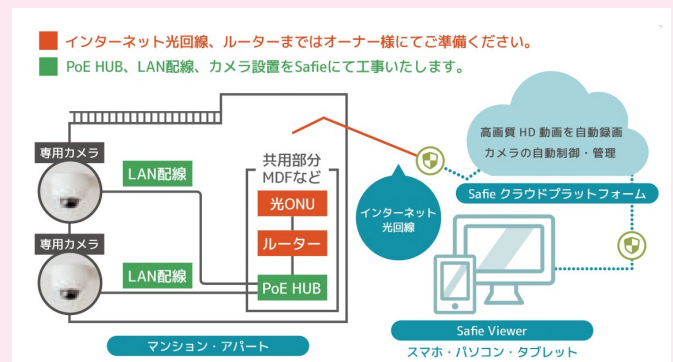
防犯カメラのデメリットは、その導入コストの高さでした。機器の費用に加えて、工事費やメンテナンス費がかかり、さらに以前の防犯カメラは録画機器をセットで導入する必要がありました。

この機器の置き場所や、管理も必要でしたので、その面倒さから導入を躊躇されるオーナー様も多くいらっしゃったようです。

しかし最近では画像をインターネット経由で録画するクラウドサービスがあります。月々数千円程度で導入可能。スマートフォンなどで画像を手軽に確認することもでき、現在は主流となっています。



クラウド型ならパソコンやスマホで画像をチェックできます



インターネット経由で画像を保存します

「住まう」に、
寄りそう。

For perfect
estate management.



(一社)全国賃貸不動産管理業協会(通称:全宅管理)は、全宅連を母体として設立された賃貸管理業界最大の会員数を有する団体です。全宅管理では、賃貸管理業の適正化や標準化を図り、業界の健全な発達に寄与することを目的とした各種事業を行っています。

ホームページはこちらから検索

全宅管理 検索

<https://chinkan.jp/>